

富津市社会教育委員会 会議録

1	会議の名称	令和6年度第2回富津市社会教育委員会
2	開催日時	令和7年3月25日（火） 午後2時00分～午後3時30分
3	開催場所	富津市役所5階 502会議室
4	審議等事項	議題 （1）令和6年度富津市社会教育・生涯学習関係 事業報告について （2）令和7年度富津市社会教育・生涯学習関係 事業計画（案）について
5	出席者名	○出席委員 高橋栄二、杉田玲子、財前 司、宮内和男、 前沢裕紀、大野泰代、石井喜美子、佐藤泰代 ○事務局 岡根教育長、中山教育部長、篠田生涯学習課長、 長谷川公民館長、吉村社会教育係長、 伊藤社会教育主事、鈴木家庭教育指導員、 伊藤社会教育指導員、藤田社会教育指導員、
6	公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員10人）
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10	会議録 （発言の内容）	別紙のとおり

「令和 6 年度第 2 回富津市社会教育委員会議」 会議録

発言者	発言内容
事務局 (篠田課長)	定刻となりましたので、只今から令和 6 年度、富津市社会教育委員会議、第 2 回定例会議を始めさせていただきます。 本日は、ご多用のところご出席いただき誠にありがとうございます。 会議の進行を務めます生涯学習課長の篠田でございます。 よろしくお願いいたします。 会議に先立ちまして、担当より配布資料の確認をさせていただきます。 …資料確認… 次に、本日の出席状況でございますが、本日の出席委員は 8 名、欠席委員は 3 名です。 従いまして、社会教育委員会議運営規則第 3 条第 5 項による、定足数を満たしていることをご報告いたします。 次に、会議の公開について説明させていただきます。 本会議は、富津市情報公開条例第 23 条第 1 項により公開となります。よって、会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。 それでは、はじめに、高橋委員長からご挨拶をお願いいたします。
高橋委員長	こんにちは、本日が任期最後の会議となります。 2 年間、本当に皆さんお疲れさまでした。 1 年目は記憶によると、第 2 次富津市子ども読書活動推進計画の立案のために頑張ってもらいました。どうもありがとうございました。

今年度は特にありませんでしたが、2年間ありがとうございました。23日に日本ユネスコの未来遺産で「くも合戦」の関係が登録されました。次に期待したいことは、鋸山の日本遺産です。生涯学習課が頑張っていると思いますのでよろしくお願いします。

昨日、4市の社会教育委員のトップが集まりまして、今年の事業の反省と来年の事業の関係の打合せがありました。既にいくつかの事業は決まっていますが、総会に諮るそうです。そこで思ったことは、たまたま資料に書いてある千葉県社会教育委員連絡協議会の会長が、袖ヶ浦の社会教育委員なので顧問として打合せに出て来ていたのですが、ずっと先ですけど、3年先の令和9年に千葉県が関東甲信越静社会教育振興大会の会場になるので、社会教育委員の次の次の方はこれに関わることになると思います。特に来年の7月ぐらいには千葉県の社会教育委員にはこれをお願いしたいということが来るかもしれないと言われてきましたが、ドキッとしています。そんなことを伺いました。

あと面白かったのは、君津市の担当職員の方が市川から通っているのですが、お子さんが高校に入学して、そのお祝いに家族旅行で島に連れて行くと言いました。どこの島に行ったかっていうと、仁右衛門島、僕ら最初は笑いましたけれども、市川から見たらとんでもない、そういうところでも家族喜んで行ったそうです。奥さんが東京都の高校の先生なのでどうしても君津だけでも、市川に住んでいると言っていましたけど、そこから車で通っていると言っていました。

あと最近、かつて高校で空手部の総監督をしていた市立学校の校長先生に会いました。その先生が言っていたことですけど、空手部なのでごく礼儀正しい学校です。そこで言ったのは、部活動は大切だと、特に高等学校の部活の大切さ、地域に任せると言っているけれども、学校で技術の習得できて、

	道徳の教育できて、人間関係を超えてそういうことは大事にしなきゃいけないんだよねということ、人間関係の大切さを延々と聞かされました。ただ面白いなと思って聞きました。 だから皆さんもきっといろんなところの人間関係があると思います。私は任期中にいろんな社会教育の仕事に関わってる方の発表やらにも行きました。スポーツ推進委員がやっている行事にも行きました。あといろんな行事やっていますよね、それを見るだけでも大変だけれども、そこに活躍している方が、元気に活躍している姿があって、すごくいいなと思っています。 要するに社会教育というのはなかなか表に出ない。最近木更津市が大変になっていて、公民館条例をなくすという話になっています。公民館条例をなくすということは、公民館いないということですけど、公民館がないっていうことはどういうことかっていうと、学校教育の先生方の場で言うのであれば、学校をなくすのと同じことです。学校をなくすとかあるんですかねっていうことを延々と話してました。たまたまこの時間に木更津市の社会教育委員会会議も開催しています。そんな関係でどうなっているかなという感じがします。いろんな問題がありますけども、皆さん本当に２年間ありがとうございました。以上です。
事務局 (篠田課長)	ありがとうございました。 続きまして、岡根教育長からご挨拶を申し上げるところですが、議会の関係の会議が終わり次第の出席となりますので、教育部長の中山より代わってご挨拶申し上げます。
中山教育部長	皆さんこんにちは。 本日は、令和６年度第２回富津市社会教育委員会会議にご出席いただきましてありがとうございます。篠田課長からも申

事務局 (篠田課長)	し上げましたけれども、本来でしたらここで岡根教育長がご挨拶を申し上げるところですが、議会の会議がちょっと延びておりまして、そちらの方に出席し終わり次第、またご挨拶にこちらに参りますのでご容赦いただければと思います。 本日は今年度の社会教育・生涯学習関係事業の報告と、令和7年度の事業計画案について委員の皆様からご意見をいただく予定としております。本市では、誇りと愛着を持てるまちを目指して様々な分野で取り組みを進めております。その一つとして、先日、「ふつつ検定」を実施いたしました。これは事前の学習を進める、見ていただくことで、より富津を知っていただくというものです。更にはまた後ほど説明いたしますけれども、来年度には故郷の自然や歴史だけでなく、文化、産業、観光、様々な分野での地域の魅力を掘り下げてフィールドワークを通して、市民の皆様により富津市を知ってもらおうという「ふつつ学」を始める計画です。市民の皆さんが地域のことに目を向け、地域の事を考えていただく、まさにこれは社会教育ではないのかなというふうに考えております。また地域から社会に目を転じますと、SDGsですとか、環境問題、またインターネットを悪用した犯罪といった様々な社会課題への対応が求められています。委員の皆様には社会教育の観点から、この市の今後の取り組みについてご示唆いただければと思っております。整いませんが、会議冒頭の挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。 ありがとうございます。 それでは、早速、議事に入らせていただきます。 これより議事の進行につきましては、社会教育委員会議運営規則第3条第4項により、委員長が議長となる、とされていることから、高橋委員長に議長の職を務めていただきます。高橋委員長、よろしくお願いいたします。
-----------------------	--

高橋委員長	それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。 議題に入る前に、会議録署名人2名の指名を行いたいと思います。 慣例により私から指名することよろしいでしょうか。 (異議なしの声)
高橋委員長	ご異議もないようですので、大野委員と石井委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。 それでは、次第の4、議事に入ります。 (1) 令和6年度富津市社会教育・生涯学習関係事業報告について、及び(2) 令和7年度富津市社会教育・生涯学習関係事業計画(案)について、まとめて、事務局の説明を求めます。
事務局 (吉村係長)	それでは、(1) 令和6年度富津市社会教育・生涯学習事業報告からご説明いたします。資料1をご覧ください。 社会教育・生涯学習に係る各事業については、本市の教育振興基本計画となる富津市教育施策に沿って、それぞれ施策・事業を推進しております。教育施策では、第2章「生涯学習の充実」において、生涯学習の推進、家庭教育支援の推進、文化振興、スポーツ振興と大きく4つの展開施策を定めており、本資料は、展開施策毎に事業や施策の実績を一覧にしたものでございます。内容について主な項目のみご説明させていただきます。 はじめに、展開施策の1、「学び、活かす生涯学習の推進」ですが、2番、「生涯学習情報の収集・提供」では、人材バン

ク「まちの先生」の登録・利用を促進するとともに、市民に学習の機会を提供するため生涯学習情報誌を発行いたしました。「まちの先生」については、登録者の高齢化により継続が困難などの理由により今年度の登録者数は 31 名、前年度から 3 名の減となっております。新たな担い手の確保が課題となっております。生涯学習情報提供誌については、内容を更新し市ホームページに公開するとともに、千葉県さわやか県民プラザが展開している千葉県生涯学習情報提供システム、ちばりすネットにも情報を掲載しました。

次に一番下の 7 番、図書施設の運営ですが、開館 2 年目を迎えた市立図書館を基幹館として、各図書施設と連携しながら効果的な図書サービスを提供するとともに、今年度もすべての図書施設で計画的な蔵書拡充を行いまして、蔵書冊数は 2 月末時点で 158,095 冊、前年度から 7,963 冊の増となっております。また、市立図書館においてはイオンモール富津や館内のテナントとも連携し、幅広い世代を対象としたイベント等を実施して利用促進に努め、来館者数については、2 月末時点で 164,105 人、3 月末で約 17 万 5 千人という見込みとなっております。昨年度の実績が約 19 万人ですが、昨年度は 4 月の開館月の来館者が非常に多かったのも、その分を差し引いて比較しますと、ほぼ横ばいとなっております。また、貸出冊数については、193,425 冊で、こちらは昨年 10 月から個人貸出冊数の上限を 6 冊から 10 冊に拡大したこともあり、約 1 万冊増加しております。

次の 2 ページをご覧くださいまして、一番上の 8 番、「ふっつ検定」ですが、郷土への誇りと愛着の醸成を図ることを目的として、公民館の新規事業として、先月、2 月 23 日に実施しました。初級、中級、上級と難易度を分けまして小学生から大人まで幅広い世代が受験できるようにしまして、合格者へは認定証と記念品を贈呈しました。受験者数については、各

級定員が 100 名のうち初級 37 名、中級 39 名、上級 50 名、合格者については初級 35 名、中級 35 名、上級 50 名でございました。

次に展開施策の 2、「家庭教育への支援と連携・協働の推進」ですが、2 番、「子どもの読書活動の推進」では、ブックスタート事業、図書館での〈おはなし会〉の開催や保育所・学校等への団体貸出の利用促進など子どもが読書に興味をもつ機会を提供しました。「ブックスタート事業」は、毎月の 4 か月乳児健診に合わせて 12 回実施し、計 107 冊の絵本を配付しました。また、図書館の団体貸出については、今年度は、全ての小中学校で実施され、貸出冊数も昨年度の約 3 倍となっております。

4 番、「青少年健全育成の推進」では、平成 7 年に青少年相談員が作成した富津ふるさとカルタを、市内企業からの寄附を活用して、当時のデザイン等をそのままに一部改訂して増刷し、子どもたちの郷土への愛着を醸成することを目的に各小学校に配付しました。また、青少年相談員事業や図書館イベントで活用するとともに、図書貸出券を活用した一般貸出を行うこととしています。

続きまして、3 ページをご覧ください。展開施策の 3、「郷土愛を育み多様な文化にふれ親しむ環境づくり」ですが、1 番、「歴史・郷土文化の保護と活用」について、市内に所在する貴重な文化財を適切に保護・管理し、それを公開・活用することで地域の歴史・文化等に対する認識と理解を深めるということで、現在、国指定となっている内裏塚古墳について、古墳群としての国史跡化を目指し、文化庁や千葉県と協議を重ね、令和 7 年 2 月に文部科学大臣に意見具申書を提出しました。

次に、展開施策の 4、「スポーツ・レクリエーションの振興」ですが、1 番、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」で

は総合社会体育館メインアリーナの照明を LED に改修するとともに暗幕の交換を行い利用環境の改善を図りました。

2 番、「地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興」では、ふれあいスポーツフェスタが 6 年ぶりに開催され参加者数は 1,253 人でした。また、スポーツ推進委員、スポレク推進員、各スポーツ団体と連携・協力し、ウォーキングイベントやスポーツ教室の開催に加え、試行的にラジオ体操会や市内古墳を巡る市民ハイキングなど創意工夫を凝らした様々な行事を開催しました。

事業報告については以上となります。

続きまして、(2) 令和 7 年度社会教育・生涯学習関係事業計画（案）についてご説明いたします。

資料 2 をご覧ください。令和 7 年度も引き続き、富津市教育大綱の基本理念『市民一人一人が生涯にわたって学ぶことができ、その成果を活かすことのできる生涯学習社会の実現』を目指し、4 つの展開施策毎に各種の施策・事業を推進していきます。

新規または拡充事業についてのみ説明をさせていただきます。新規事業についてはアンダーラインを引いております。

展開施策 1 つめ、「学び、活かす生涯学習の推進」、(1) 学習機会の提供、①各種講座等の充実では、「「ふつつ検定」・「ふつつ学」の実施」ということで、富津市の魅力や施策などを学び、誇りと愛着の醸成を図ることを目的として実施します。

「ふつつ検定」については、今年度新規事業として行いましたが、来年度も引き続き実施するとともに、新規事業「ふつつ学」については、市の様々な分野を多角・多面的に学習し、市の魅力を体験・実感していただくことで、市の活性化につなげようとするものです。これについては、この後、「その他」で改めて長谷川館長より説明させていただきます。

③の「生涯学習推進体制の整備」では、生涯学習バスについて、コロナ禍以降学習活動が活発したこと、再び2台体制となったことにより利用件数が増加しております。市民の学習ニーズに対応できるよう年間の運行回数を300回から330回に拡充し利用促進を図ります。

(3) 社会教育施設の整備、①図書施設の適正な管理については、市立図書館をはじめ、公民館図書室、移動図書館、電子図書館、全ての図書施設において計画的な蔵書の拡充を行い利用環境の向上を図るとともに、利用者ニーズに沿った図書サービスの提供、指定管理者と連携した特色あるイベント等を実施し、読書推進に努めていきます。

続きまして、展開施策2つめ、「家庭教育への支援と連携・協働の推進」、(1) 家庭教育支援チームの活動、②の子ども読書活動の推進の中のブックスタート事業ですが、現在、ブックスタート事業のフォローアップとして、3歳児健診の機会に、おすすめ絵本のリストを配付しているところですが、図書館の協力をいただきまして、リストに加えて絵本の引換券をお配りします。引換券は、その後図書館にて絵本と引き換えていただき、ご自宅での読み聞かせを促進するとともに、図書館に足を運ぶきっかけづくりとなっていただければと考えています。

(2) 地域学校協働活動の推進では、来年度も富津、大貫、環小の3校で放課後ルームを開設し、11月からは社会教育指導員を中心に、塾に通っていない生徒の学習支援ということで「学習サポート会」を実施いたします。放課後ルームについては、令和7年度をもって環小学校が閉校となることから、その後の運営方法等について来年度中に協議していく必要があります。これについては、この後、その他で担当から説明させていただきます。

裏面をご覧ください。施策の3、「郷土愛を育み多様な文化

	にふれ親しむ環境づくり」ということで、(1)文化財の保存・活用では、国史跡への追加指定予定である内裏塚古墳群の保存及び活用に向け有識者及び地元関係者の意見を伺いながら計画の作成に着手するとともに、当該古墳群への市民の関心と理解を深めるため講演会等を開催予定です。 ②番、鋸南町と共同で実施している、鋸山日本遺産候補地域活用事業については、引き続き、両市町が一体となり、地域活性化につながるよう取り組んでいきます。 最後に、施策の4つめ、「スポーツ・レクリエーションの振興」では、スポーツ推進委員、スポレク推進員やスポーツ団体と連携・協力しながら、イベント行事等の創意工夫を図り、多くの市民の参加促進、健康増進に努めてまいります。 簡単ではございますが、以上、令和7年度の社会教育・生涯学習関係事業計画（案）でございます。 議題の説明については以上となります。
高橋委員長	事務局の説明は終わりました。 委員の皆さんからの、ご意見、ご質疑を伺います。 ご意見等ございますか。
高橋委員長	私から質問していいですか。 内裏塚の関係は今後どうなる予定ですか。意見具申書を提出して見通しはどうですか。
事務局 (篠田課長)	古墳群についてなんですけれども、今、国指定になっています内裏塚古墳を中心に49基の古墳がありますが、墳丘が現存しているものが20数基となります。その内の、今市指定されている1基に加え、数基に対して指定をするための意見具申書を提出しました。今の段階ではどの古墳ということをお示しすることはできないのですが、意見具申しているものに

	対しては大体令和 7 年の秋頃の告示になる予定でいます。
高橋委員長	わかりました。大体あの周辺なのかなと思っていますが、市内 49 基、青堀だけでも結構ありますよね。
事務局 (篠田課長)	現存しているのは先ほど言ったように 20 数基です。
高橋委員長	なかなかイメージが湧かないですけど、ありがとうございます。 単純な質問でいいので他にいかがですか。 石井委員どうぞ。
石井委員	令和 6 年度の事業報告を拝見しまして、1 年間かけて大変細かなところ、多岐に渡って成果を出されていたことにまずありがたく思います。お疲れ様でございました。 その中で何点か事前にいただいた資料を拝見した中で、別の会議、富津市の別の会議に参加しているのですが、富津市は本当に文化に誇りの持てる郷土愛の持てる市を目指すんだというところの中で、やっぱり担い手をどう繋いでいくかっていうところが、やっぱり人口減少がこれだけ厳しい中であっても、担い手をどう見つけていって、それを繋げるかっていうのが、市全体でも大きな課題になるっていうふうなことを、お話を伺った中で、例えば 1 番の「学び 生かす 生涯学習の推進」においても、高齢化による登録者数の減少であると、じゃあ次の担い手をどんなふうに発掘していくのかと思うんですね。そういった部分でも人口減少に伴う高齢化が進んでいく中での 1 つのいい例だと思います。 併せて「郷土愛を育み多様な文化に触れ親しむ環境づくり」においても、もっと保存・伝承を図っていく中でも、子どもた

高橋委員長	ちとか若者にしてあげたい取組などですね、ここは拝見すると、比較的あるものをいかに守り形づくりをしていくかということなんですけれども、この中でもやっぱり次に繋がる世代の人たちをどう取り込んで、親しむ環境作りの中にもやはり若者であるとか、子どもであるとかっていう、そういう人的な資源というものをいかに発掘していくのかがこういうところでも必要ではないかなっていうふうに思いました。確かにあるものは素晴らしいんですが、やってることは素晴らしいんですが、繋いでいくというところから考えると、もっともっと子どもとか若者に目を向けた取組が、4つの柱の中に、目標であったりしても、目に見える形、見える化する中で、繋ぐというものの人的な資源の活用を含めていただけたらいいのではないかなっていうことを思いました。 というのは、1月の君津地方社会教育推進大会の中でクローバー賞があって、その中で木更津市さんは桜井の子どものお囃子がクローバー賞に選ばれたんですね。私すごくもう目からウロコで、今までは大人の方は一生懸命頑張ってるっていう姿が人前で表彰されるのを見てきたんですけども、子どもたちが地元のお囃子を自分達で運営しているやっているんだっていうようなところに視点を当てたクローバー賞っていうのは、やっぱりこれからのその担い手である子どものこれからの生き方にも関わることもあるし、ぜひそういった意味においては富津市も担い手を、人的資源をどのように生かしていくのかっていうのもこのうちの柱にぜひ、しつこいですけど、挙げたらいいんじゃないかなっていうふうに思いました。 以上、感想です。 ありがとうございます。 他にございますか。
--------------	--

	…意見・質問等無し… 他にご意見等もないようですので、ここで、お諮りしたいと思います。 令和6年度の事業報告及び、令和7年度の事業計画について、承認いただける方は挙手を願います。 …委員全員… 賛成全員と認めます。 それでは、「令和7年度富津市生涯学習関係事業計画」の（案）を消してください。 次に、次第の5、「報告」に入ります。 報告事項は4件あります。まず（1）全国・関東甲信越静社会教育振興大会について、（2）千葉県社会教育振興大会について、（3）君津地方社会教育推進大会についてまで、3件まとめて事務局、生涯学習課から、次いで（4）令和7年二十歳の集いについて、公民館から説明をお願いします。
事務局 (吉村係長)	…推進大会等について報告…
(長谷川館長)	(1) 全国・関東甲信越静社会教育振興大会 (2) 千葉県社会教育振興大会 (3) 君津地方社会教育推進大会 (4) 令和7年二十歳の集い
高橋委員長	事務局からの説明は終わりました。 ご質疑等ございますか。
高橋委員長	全然関係ない簡単な質問です。 二十歳の集い対象者が367人と記載されていますが、ちな

事務局 (長谷川館長)	みに昨日君津の方が言ってましたが、君津は約 800 人いたそうですが、今年生まれた子どもが 400 人しかいない、20 年後は半分しかいない。ということは、学校が減るのかなっていう感じがありました。 そんな状況ありますけど、そういう把握はされていますか。 皆さま既にご存じのとおり、富津市は人口減少のさなかにあって、出生数も減少している状況にあります。ついては成人者もすべからく減少している状況にあります。おそらく、この対象者数も来年度は大体 50 人から 70 人程度減るんじゃないかなとは想像はしておりますが、年々減っているということ。開催については富津市ですと市内全体の成人者を 1 館に集約して開催するタイプでやっております。他 3 市については各エリアの公民館でそれぞれ二十歳を祝うという形でやっていると思うんですけど、逆に他 3 市からは 1 館に集約してやりたいというような話も受けておりますので、そういった意味では、富津市のタイプの方が先行してるかなというふうな感じをしております。以上です。
高橋委員長	ありがとうございました。 他にご質問等いかがでしょうか。 …意見・質問等無し…
高橋委員長	それでは次に次第の 5、その他に移ります。 委員の皆さんから何かございますか。 杉田委員どうぞ。
杉田副委員長	それでは、資料の「富津市図書館協議会参加報告」というものをご覧ください。

高橋委員長	図書館が２年前にできまして、私も社会教育委員を代表して図書館協議会へ２年間参加させていただいております。 急遽ではありますが、参加報告ということで時系列で会議内容が抜粋されておりますのでご覧いただけたらと思います。より詳しいことは公開会議になっておりますので、またパソコンなどで検索していただけたらと思います。 何か質問やそれから図書館協議会にご提案などありましたら、是非、私の方にいただきたいと思います。 ご報告ありがとうございました。 他にいかがですか。 それでは、私から事務局に質問があります。質問というか回答は要りません。 青少年相談員とかスポーツ推進委員とかありますね。青少年相談員は地域貢献者の関係で学校が、佐貫小学校とか環小学校なくなると、千葉県から委嘱数が決まってくると思うんですけど、人間の配置の仕方は次は検討していただきたい。 例えば、佐貫に何人もいる必要があるのか、地域から言われていますし、環小も、結構広い範囲から天羽小学校に集まってしまうと、そういうところの委嘱者数も含めて次の３年後に考えていただきたいと思います。 スポーツ推進委員は今４８名くらいいますかね（スポーツ・レクリエーション推進員との合計）。人数は果たしてそれだけ必要かどうかということも、次回の時に検討をお願いしたいと思います。昔は（スポレク推進員だけでも）４０名と聞いています。どれだけの活用があるかどうかは私も分かりませんので、今は回答は要りません。今後とも委嘱時に必要があったら考えていただきたいと思っています。以上です。
--------------	---

	他に質問・意見等がなければ、事務局はいかがですか。
事務局 (長谷川館長)	…「ふつつ検定」・「ふつつ学」について説明…
事務局 (伊藤社教主事)	…放課後ルームの今後について説明…
高橋委員長	ありがとうございました。 それぞれ説明がありましたが、委員の皆さんから何かご意見・質問等ございますでしょうか。 杉田委員どうぞ。
杉田副委員長	「まちの先生」についてですが、なかなか活用されないとか、そのように聞いておりますが、高齢化に伴いということで減少、これはそうであろうというふうに思いますが、これ登録制なので登録してくださってる方たちは、やはり声かけられることを待っているわけですね。 昔、私がそれでとてもありがたい経験をしています。生涯学習課から案内していただいて、中学校の方に福島で交流会があるので、その前にお話をさせていただきたいというふうな依頼があって、お話を伝えるにはこういう方法あるよって素話とか何かそんなことをさせていただいて、その後そこに勤務されていた国語系の先生が天羽東中の方に異動されて、今度は天羽東中の方から声かけていただいてっていう、ありがたいな、こういうふうに広がっていくと、私なんかは個人的に自分を使っていただけで、ありがたかったっていう思いがあったんですね。 でも、それと同時に大貫小学校に出向いてやったときに、男性の先生に、杉田さん何回ぐらい来てるんだって声かけら

事務局 (長谷川館長)	れてっていう話だったんですけど、登録して何回でもないよねってその方は残念がってたんですね。1年間でっていう話だったと思いますけど。 だからそうなんだやっぱりみんな手を挙げられた方は、何か自分が役に立ちたいとか、そういう声掛けを待ってらっしゃる。生涯学習課でそういうふうにプロデュースじゃないけど、繋いでいただけるとそれが広がるっていうふうに思っているので、それはますますのやっぱり努力していただいて頑張っていたきたいところなんですけれど、公民館で「まちの先生」を活用して、なかなか市民側から新規の講座というのはできにくいっていうふうなこともちょっと聞いたりもしましたので、長年そうやって「まちの先生」に登録していただいている方とかから、例えば公民館の職員さんで検討されて、相談をかけられて、こういうことができないかというふうなそういう広がりっていかがでしょうかね。 ありがとうございます。 私がかつて生涯学習課に在席した頃に、石井委員にもご経験あると思いますが、「まちの先生」(の原型となる「講師情報」)の登録も当時からございました。当時、私が生涯学習課でやったことは、房州の凧作りをやりますよっていう先生がいらっしゃって、それを取り上げまして中央公民館で開催した経緯がございます。また魚の捌き方を教えますよという先生がいらっしゃって、それを料理教室で取り扱った経験がございます。また、子育てに明るい方がいらっしゃって、それを中央公民館で実施した経験がありました。またそういったことを公民館長の職に就いていますが、「まちの先生」の活用ということで主催教室や事業で取り組める部分があれば、積極的に取り組んでいきたいというふうに考えます。またこれは私がかつて生涯学習課で主催事業としてやっていたことなの
------------------------	---

事務局 (篠田課長)	で、現在の生涯学習課でも同じように取り組めるはずですので積極的に取り組めるんじゃないかなと思います。公民館としては以上です。 「まちの先生」という括りだけではないんですけれども、先ほど高橋委員長からお話がありました内裏塚古墳群が指定されたらどうなのかっていう話があったと思うんですけども、指定された後に市民の方々に知っていただくために講演会等を考えておりますので、その中で「まちの先生」の中で史跡についてのってというようなものも登録いただいている先生もいらっしゃいますので、またそういう方々にお声掛けをして、講演会とか、またはボランティアとして色々な場所でお話をいただくのってというのは別なんですけども、そういうことで活動していただけたらと思っております。以上です。
杉田副委員長	ではあと2点教えてください。 放課後ルーム、環小学校での開設をこれからどうするかという件で、現状を知りたいんですけど、何名くらいが活用しているかということ、もう一つは保護者の意向はどうなのかということをお教えしてもらいたいです。
事務局 (伊藤社教主事)	現在の登録者数は28名で、来年度も人数が多いのではと考えています。保護者はもちろん喜んで、子どもたちはそれ以上に喜んでみたいな感じだと思います。今、環小では割と早めに迎えに来ていただいた保護者の皆様が子どもたちの見守りもやっけていただけている場面が、支援員の相談の機会になったり、それから見守り役が少ない場合には、生涯学習課の職員も参加したりといったところなので、コンスタントに来ていただけるような本当はもうちょっと踏み込んだ支援員よりの大人がもう少しあればなという感じはしています。ただ

杉田副委員長	場所的に、来年度以降、学校が使える場合には体育館だけがおそらく残るであろうと、それもずっとではないので、という問題があったり、他の地域の場所を求めるとするとシニア館は関豊で、ちょっと遠くにあるし、近くだと何かがあるのかどうかっていうのは、(隣接の) 峰上保育所も令和9年度末をもって(閉所)といったような、今のところ予定というか流れになっているんですね。そのような状況です。 分かりました。そこのところから始まらないと、ちょっといただいた資料の情報だけでは、まずそちら側の現状把握をさせていただいて、それからこういう条件のもとにどれがいいのかいいのかっていうふうに考えさせてくださいというお願いでした。ありがとうございます。 あと1点、ボランティアについてですが学校の統廃合が進みまして、小学校でボランティア活動をされていた方たちの中で、おそらく行き場がない方が出てきているのではないかなと思うんですね。それだけではなく、また新しい方でボランティアをしたいっていう声も実は私のところに届いてます。その方に紹介して子ども教室の話もしたらそっちも覗いてみたいっていうふうに興味を示してくださいました。大貫小学校の奉仕作業と同じで、本当口こみレベルですが、でもそういったふうに少しずつその場が自分にとっての居場所になればっていうふうに思って、私も奉仕作業は学校で求めていることでもありましたけど、運営協議会の中でも学校側からそういうお話もありましたが、私達シルバー世代が今何ができるかって、何かの役に立てて自分で満足した時間が、楽しい時間が過ごせるようになって自分重ねをしたときに、これっていいなっていうふうに思って活動しようと思って始めたことなんですけれども、だからそうやって何か場を求めている人の声をどうやってすくい上げるかっていうことを、もう少しき
---------------	---

高橋委員長	め細かく、いろいろな場所で部署で協議してそういう人たちをこんなふうに声掛けしようとか、こういう場があるよとか、コロナがあったので小学校単位でも多分「おはなし会」なんかの開催もストップされてるところがそれこそ実態がわからないのでそういうことも現状を調査していただкинаながら、声かけをぜひ広くお願いしたいと思います。
事務局 (伊藤社教主事)	ありがとうございます。 今のご意見に関連付けてなんですが、学校がなくなるからといって地域がなくなるわけでもないんですが、発表の場というか支援の場がなくなるということを残念に思うので、ぜひ何とかしたいなと思うのと、それから学校に我々もちょっと入っていかなきゃいけないなという感じは日々している。一つの方法として放課後ルームであったりとか、あるいは学校図書館であったりとか、あるいは学校の支援員さんだったりするっていうこともあるので、そこら辺との道筋をですね、おっしゃった通り調査から入るべきだなと思っていて、市職もそのような話を進めてまいりますので、来年度は学校に足繁く通いたいと思っています。
高橋委員長	ありがとうございました。 他に意見や質問等はございますか。 …意見・質問等無し…
高橋委員長	それでは、以上で本日の議事はすべて終了しました。 議長の職を解かせていただきます。 ご協力いただき誠にありがとうございました。 事務局へお返しいたします。

事務局 (篠田課長)	高橋委員長、ありがとうございました。 委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただき誠にありがとうございました。 それでは、ここで岡根教育長から一言ご挨拶申し上げます。
岡根教育長	皆さん、こんにちは。 議会の関係で全員協議会をやっている、議員の皆さんと新しい施策についての話し合いをされていて遅れて申し訳ございませんでした。 お話を伺っていて、まさに社会教育の基盤となるような地域人材をどう活用していくとか地域の教育力という話が出て、まさに社会教育委員会議のベースとなる話し合いをされてるのかなっていうので感動いたしました。先ほど出た中に全員協議会で保育所の関係が出まして、保育所の再配置が出て、議員の方から今年生まれた子どもが 107 人だねって話で、それを取り合ってどうのこうのって話と民間の私立の保育所、こども園とどういうふうに競合するのかみたいな話が出たんですけど、先ほど成人式の話じゃないけども、この誰もこれから入ってこなくなったりすると 107 人で 20 歳を迎えるという時代があと 20 年後には来ると、ただ私ども先ほど来、委員長が心配して継承者の話とか人数が少ないとかって話だけど、3 万人以上、4 万人近くいるんですよ。その中でやはり活性化していいまちだなっていう富津市を作っていくことがすごく大事な視点なんだろうなというふうに話を聞きながら思いました。 それで特に今日私は後で話しますけども、3 月 31 日で教育長を退任します。それで議会のところでちょっとお話ししたんですけど、まさに子どもたちには体験とか一生懸命努力して得たものとか、そういうお金で買えない財産を持ち、育てた

いって話をして、その中に読書を入れました。

やっぱり能動的に文字を書いていって読解力をつけるってことは自分でしか力にならないんですね。情報化社会がどんどん進んで便利になっていくとも読書はすごく大事なことでだと思いますってことをサラッと所以说たので議員の皆さんがどんだけ理解したかちょっとわかんないですけど、何はともあれそういう話をさせていただきました。

そういう中で今「ふつつ検定」とかここで社会教育で今度皆さん方にお知恵絞っていただきたいんですけど、「ふつつ検定」とか「ふつつ学」とか地域を耕していく、勉強しようという形で今館長が頑張ってくれてます。残念なことに小学生中学生が「ふつつ検定」受ける子少なかったんですよ今回。これやっぱりちょっと施策的に子どもたちはそこに連れてきて、これをやるってところでどこまで熟成していくかっていうのがまだできてないな。だから学校に行って検定してもらおうっていうのもありかななんていうのは、館長には伝えました。ただし来てる人たちは一生懸命勉強してます。勉強というかこういう問題集があったのでそれを記憶し、記憶じゃないで勉強してたよね。一生懸命やっていただいて、ただこれが他の市民がどれだけ学習していこうかっていう機運が高められるかは、もう館長の腕次第ですので、頑張れ頑張れとしか言いようがないんですけどなんかそういうのが知恵を絞っていかなきゃいけない現在、社会教育の皆さんがこんなことをやったらどうだっていう話を示唆をしていただきたい、そういう面で皆さん方はまさに社会教育のブレーンですのでぜひまたお知恵を拝借できたらなと思っていますし、その他やはり地域富津市を知ったりしてちょっと勉強するっていうこと以外にも、環境教育ですとか SDGs とか情報化社会の中でどう生きていくのかなっていうのも講座としてあってもいいのかななんてのも考えますので、先ほどの「まちの先生」のような人

事務局 (篠田課長)	材を発掘して講演をしてもらうっていうのもそういうような知恵もまた皆さんからいただければいいかなと思っています。私はこれからも一市民になりますので良い講座があればいきますので、ぜひ皆さん方がいい知恵を出していただいて、また生涯学習とか公民館が頑張ってくれることを期待しています。本当に私、9年間、教育長やらしてもらいましたけど、皆さんのおかげで何とか、あと数日間ありますけど、大きな事故がないことだけ祈りながら過ごしたいと思います。本当に長い間ありがとうございました。 以上をもちまして、令和6年度第2回富津市社会教育委員会会議を終了といたします。 2年間にわたり様々なことに対して貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。 お疲れ様でした。
-----------------------	---